



地球環境とともに

地球温暖化をはじめとする地球環境に関する問題を解決すべき最重要課題の一つと考え、環境保全に向けた対策と活動に積極的・継続的に誠実に取り組みます。

環境活動の全体像

◎ 第3次連結中期環境計画の概要

コスモ石油グループでは2002年度より連結中期環境計画への取り組みを開始し、2008年度から「第3次連結中期環境計画」に取り組んでいます。「第3次連結中期環境計画」では、以下を方針としています。

- ・対象範囲を拡大し、グループ全体の環境経営を一層強化
- ・環境効率のさらなるアップと地球温暖化リスクへの戦略的対応
- ・社員の自主的・自発的な取り組みを促進し、揺るぎない環境ブランドを確立

具体的には、以下の4テーマに取り組んでいます。

- ① 地球温暖化の対策：製油所を中心とした省エネルギー活動やオフィス版チーム・マイナス6%活動など
- ② 環境負荷の最小化：産業廃棄物の削減や土壌環境対応、化学物質の適正管理
- ③ 環境配慮型の事業展開と技術開発：石油代替エネルギーや非石油エネルギー（新エネルギー）の分野の事業展開や研究開発
- ④ 環境情報共有化と情報発信：個人版チーム・マイナス6%活動やコスモ石油エコカード基金など

▶ 第3次連結中期環境計画の2008年度取り組み状況

※達成度：○達成 △一部達成 ×進捗なし

テーマ	主な目標	2008年度の実績	目標の達成度	2009年度の目標	
環境効率の改善	地球温暖化の対策	4製油所のエネルギー消費原単位の改善(2010年度に1990年度比▲15%)	エネルギー消費原単位：1990年度比▲10.54%	×	2010年度▲15%に向けたエネルギー消費原単位のさらなる削減。
	温室効果ガスの排出管理(海外開発部門～流通部門における定量把握)	海外開発部門のアブダビ石油、ならびに原油輸送の定期用船分について、定量把握を開始した。	△	定量把握事業所の拡大とポスト京都に向けたCO ₂ 排出量をベースとした方針策定。	
	省エネルギー・省資源の推進(オフィス版チーム・マイナス6%)	目標に対して、コピー用紙、社有車燃料は未達、オフィス電力については目標達成。	△	2008年度と同様の目標値に対して、すべての項目で目標達成。	
環境負荷の最小化	廃棄物の削減(コスモ石油：最終処分率*1 0.5%未達、関係会社*2：最終処分率5.0%未達)	コスモ石油の最終処分率は1.0%。関係会社は6事業所のうち、5事業所が目標達成。	△	コスモ石油の最終処分率:0.5%未達。関係会社の最終処分率：5.0%未達。	
	土壌環境対応の徹底(サイト別<製油所、研究所、SS、遊休地>予防策と事後対応策によるリスク低減)	製油所の含油排水配管の点検補修を計画どおり実施。また、SSの土壌調査対応と啓発活動も計画どおり実施。	○	2008年度と同様、土壌環境対応の徹底(サイト別<製油所、研究所、SS、遊休地>予防策と事後対応策によるリスク低減)。	
環境経営の強化	環境配慮型の事業展開と技術開発	バイオマス燃料の製造事業や集光太陽熱発電など新規環境事業を含む、各分野の着実な進展。	○	新規環境事業の進展ならびに事業化、既存案件の性能向上に向けた研究開発、新規案件の探索。	
	環境情報共有化と情報発信	個人版チーム・マイナス6%活動(社員やその家族を巻き込んだ取り組み)	○	さらなる参加者の増加。一人1日あたりのCO ₂ 削減量1.066kg-CO ₂ 以上の維持。	

【注】表中の▲は削減を表します。

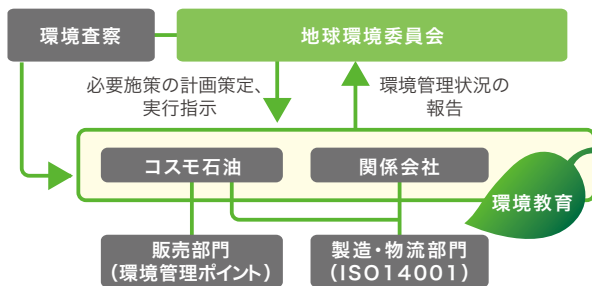
*1 廃棄物最終処分率は4製油所・四日市霞発電所(IPP)・油槽所・研究所を対象とします。

*2 関係会社：コスモ松山石油、コスモエンジニアリング、コスモ石油ルブリカンツ(2工場)、コスモ石油ガス、北斗興業の6事業所。

環境管理体制

コスモ石油グループは、グループ全社員が主体的に取り組むよう、独自の環境管理体制を構築しています。環境管理の円滑かつ効果的な推進のため、部門横断的な組織「地球環境委員会」が、連結中期環境計画の立案・実績報告・評価などを行い、各事業部門にフィードバックする仕組みです。地球環境委員会は、審議結果をCSR推進委員会に報告することにより、PDCAのサイクルを効果的に回しています。また、社員の意識向上のための環境教育を継続し、環境への取り組みを経営から現場まで共有できる仕組みを採用しています。さらに、事業所ごとに「環境査察」を行い、現場での環境管理の徹底も図っています。

▶ 環境管理体制図



環境査察

地球環境委員会は、製油所や研究所ならびに販売・物流などの統括部署に対して、定期的に環境査察を行い、環境管理状況を確認するとともに、必要に応じて改善勧告・提言を行っています。環境査察の結果は、CSR推進委員会に報告されます。2008年度の査察では主に、製造装置の運転開始・停止など、定常とは異なる作業における環境管理や環境負荷削減について議論しました。また、現場において実務内容の聞き取り調査、資料調査を行うことにより、日常の環境管理状況を監査するとともに、連結中期環境計画の進捗状況について確認しました。その結果、環境査察対象の各事業所および関係会社は適切に環境管理を実施していることを確認しました。

▶ 2008年度環境査察実施事業所/会社

コスモ石油	千葉製油所
	四日市製油所
	堺製油所
	坂出製油所
	販売サポート部
	事業開発部
	物流管理部
中央研究所	
関係会社	コスモ松山石油
	コスモエンジニアリング
	コスモ石油ルブリカンツ
	コスモ石油ガス

事業所ごとの環境管理体制 —ISO14001—

コスモ石油グループでは、環境負荷の大きい事業所を中心に、4製油所を含む10事業所でISO14001認証を取得しています。事業所では、連結中期環境計画を業務目標に組み込み、目標達成に向けた計画的取り組みに努めています。また、定期的に内部監査を実施するとともに審査登録機関による外部審査も実施し、PDCAが回っていることなどシステムが確実に機能していることを確認しています。

▶ ISO 認証取得事業所

事業所名	取得年月
坂出製油所	1997年 6月
千葉製油所	1998年 3月
四日市製油所	1998年 3月
堺製油所	1998年 3月
コスモ松山石油	1998年12月
コスモ石油ルブリカンツ 下津工場	2003年 6月
コスモ海運	2003年 8月
コスモ石油ルブリカンツ 大阪工場	2003年10月
四日市エルピージー基地	2006年 9月
中央研究所	2006年12月

WEB 関連情報 ● グリーン購入
<http://www.cosmo-oil.co.jp/csr/environment/plan.html>